



地域貢献

短期大学は学校教育法によって4年制大学と目的や修業年限を異にする大学と位置付けられ、身近な教育機関として、短期間で大学としての教養教育やその基礎の上にたった専門教育を提供しています。大分短期大学は実践的職業教育の場として大きな役割を果たすとともに、地域と連携協力して多様な学習機会を提供しています。

●グリーンアカデミー

一般市民の方を対象とした園芸の市民講座で毎月第3土曜日に実施しています。昭和51年から続いており、受講者数は延べ10,800人に及んでいます。

●講師派遣(出前講座等)

農業・園芸・造園に関する行政機関における審議委員等や各種試験、コンテストにおける審査員、高校で行われる出前講座や各種講座等における講師等に、教員を派遣しています。

●地元新聞の園芸欄への寄稿

大分合同新聞の園芸欄に毎月花、野菜、果樹、庭木、作物についての育て方や手入れ、管理の方法を掲載しています。

●科目等履修制度・聴講生制度による社会人等の受け入れ

社会人の受け入れを積極的に行っています。リカレント教育・生涯教育の場として提供しています。募集要項は、ホームページをご覧ください。大分県立爽風館高等学校との高大連携も行っています。

●早稲田大学（JA共済寄付講座）との連携事業

“園芸療法”や“園芸福祉”の概念を、早稲田大学社会科学部の学生と合同で行われるフィールドワークやイベントを通じ、地域社会（県内の社会福祉法人や高校生、一般の方々など）への普及活動を行っています。

●産・学連携事業（NPOさかのせきまちづくり協議会）

ヤブツバキの系統選抜と里山保全、椿油・花卉を利用したドレッシングや石けん、クリームの開発などを行っています。地域資源を生かすためのワークショップやシンポジウムを開催しています。

●トウツバキの再生を目指した取り組み

竹田市片ヶ瀬の市指定・天然記念物トウツバキの樹勢回復と後継樹育成を目指し、大学・竹田市・地域と連携した取り組みを行っています。学生達にとって、樹木医補の認定を目指すフィールドワークの一環として実習体験をしています。



関崎半島にヤブツバキ広場の環境整備



ヤブツバキ果実利用の手芸品作り(ワークショップ)



樹勢強化対策(竹田市片ヶ瀬のトウツバキ)



剪定・土壌改良による樹勢回復